



# てらるるる

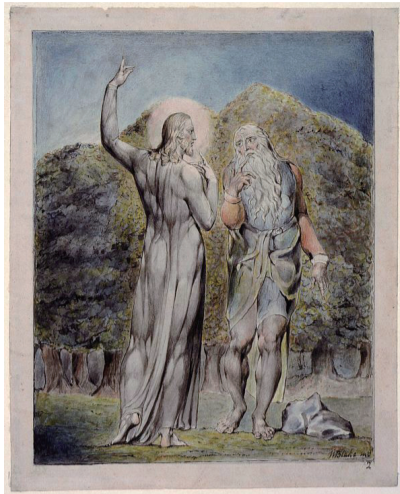


2022年  
3月  
No.891

■発行所■  
日本福音ルーテル教会事務局広報室  
〒162-0842 東京都新宿区市谷砂土原町1-1  
電話 03-3260-8631

■ウェブサイト■ <https://jelc.or.jp/>  
■E-mail■ [jelc@jelc.or.jp](mailto:jelc@jelc.or.jp)

■発行人■ 李明生 koho@jelc.or.jp  
■印刷人■ 精文堂印刷株式会社  
■定価■ 1部 40円(郵税を含む)  
■振替口座■ 00190-7-71734



W. プレイク作「最初の誘惑」(1815-1819年)  
ケンブリッジ・フィッツウィリアム美術館所蔵

## 説教 「受難節を憶えて——あなたの神である主を拝み、ただ主に仕えよ——」

日本福音ルーテル熊本教会・玉名教会 牧師 杉本洋一



イエスはお答えになつた。「人はパンだけで生きるものではない。

神の口から出る二つの言葉で生きる」と書いてある。

マタイによる福音書4章4節

3月2日の聖灰水曜日から、典礼色も「紫」に変わります。礼拝式文からも福音に先立つて歌われています。「ハレルヤ唱」は歌われなくなり、替わって、ギリストはおのれを低くして、死に至るまで、しかも十字架の死に至るまでみ目に従われたとの詠歌が唱えられます。この期節は、典礼色が示すとおり、真剣な悔い改めの時となります。

この「ことば」(の持つ意味)と「灰」により、メモト・モリ(memento mori)「汝の死を忘るるな」が意識されてきました。この世の美しさも、地位も、名譽も財産も、しばしの栄華にすぎず、やがてそれらは夢のように消えていく。どんな人であつても、死んだときに残るのは、ただ二握りの灰であるという死と、朽ちるものであるということを学ぶことでもあります。つまり、それはギリストの苦難と死の意味について考えることであり、その苦難と死へイエス・キリストを導いたのは、わたしの「罪」であり、真の悔い改めを心に刻むことを「灰」は教えるようにするのです。灰は

死のシンボルです。生命が、もうぜんぜんないというしるしでもあるのです。もう3年目に入りますが、私たちは、コロナ感染の不安や心配、閉塞感の中にあります。聖餐式も行いづらの中にあります。パンと葡萄酒をもつて、ギリストの体と血をいただきました。それをしるしてきました。それは、額に灰をつけることは、額に灰をつけることを通して、自分が罪人であることを、自分が罪の中にいることを、死ぬことを憶えるのです。

「神は、その独り子をお与えになつたほどに、世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。」(ヨハネ3:16)とは、

いのかという問いです。人は、心も体もあるものとして創られました。その全体において、心において生きる価値を味わっているだろうか、人としてこの世に生まれたこと、生かされて喜ぶにはあるだろうか。尋ねておられるのです。イエスさまは40日間の断食のあと、ガリラヤに戻つて、共に食べ、飲み、喜び合う共同体を作つていきます。そこでイエスさまは、イスラエル民族が「荒野の40年」で学んだはずの、「人はパンだけで生きるものではない」という精神を受け継いで、貧しい者や弱っている人、あるいは罪人といわれて社会から排除されているような人びとを招いて食事をすると、いうことを実践していききました。

「求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。」(マタイ7:7)

「どうして今私はここにいるんだろう。」と良く思いますが、きつとあの時も命のことばであるイエス様と共にあの人が私と一緒に歩いてくれたからだ。生きていく中で一人一人それぞれがいろんな人に出会ふでしょう。そのあなたが出会ふ人も必ずイエス様が共におられます。私は検査入院の時に強い孤独を感じ「辛い時に話をゆつくり聴いてあげる人になりたい」とますカウンセラーになりました

いまい私たちは、このイエスさまの心を受け継いで、共に食べ、飲み、分け合つて喜び合う関係を、つながりを、全ての人の開かれたものとして実現することが求められているのかも知れません。

いとしい資料をかき集め始めました。その時は一般的な勤めをしていたので、社会人入試ができる学校を探していました。基本には必ずキリスト教があつて欲しいと思いついた。基本には必ずキリスト教があつて欲しいと思いついた。基本には必ずキリスト教があつて欲しいと思いついた。基本には必ずキリスト教があつて欲しいと思いついた。

「求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。」(マタイ7:7)

「求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。」(マタイ7:7)

「求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。」(マタイ7:7)

**春の全国ティーンズキャンプ inオンライン**

今年の春キャンもオンラインで開催します！  
今年はゲストにアメリカ帰りの関野和寛牧師をお招きし、「自分の限界を超える」というテーマをみんなで分かち合います。ぜひ参加してね！

日程 : 3/27(日)16~18時  
(終了後、懇親会があります)

テーマ : 「自分の限界を超える」

主題聖句 : ガラテヤの信徒への手紙 6章2節  
参加要件 : 2003/4/2~2010/4/1  
生まれの方

申し込み方法 :  
3/20(日)までに、以下のメールアドレスに①名前②住所③生年月日④通っている教会名を記載の上、申し込みください。  
折り返し、当日のZoomミーティングの招待URLをお送りいたします。  
メールアドレス s-morita@jelc.or.jp  
(大江教会牧師・森田哲史)

**命のことば**

伊藤早奈

「24」祈り

「求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。」(マタイ7:7)

「どうして今私はここにいるんだろう。」と良く思いますが、きつとあの時も命のことばであるイエス様と共にあの人が私と一緒に歩いてくれたからだ。生きていく中で一人一人それぞれがいろんな人に出会ふでしょう。そのあなたが出会ふ人も必ずイエス様が共におられます。私は検査入院の時に強い孤独を感じ「辛い時に話をゆつくり聴いてあげる人になりたい」とますカウンセラーになりました





議長室から 大柴謙治

### 「二つのJ」を愛する〜文楽・豊竹呂太夫

合するかは日本に生きるキリスト者として一人一人に求められている信仰告白的な課題でありましよう。事柄としてはキリスト教の日本での「文化内開花／土着化／文脈化」ということになりまよう。

大阪教員林雄治さん

内村鑑三に「われは二つのJを愛する。即ちJesúsとJapanを」という言葉があります。確かに私たちの国籍は天にあるとしても、この二つは共に天から贈り与えられている賜物。遠藤周作は「洋服のキリスト教を「和服」にする」という課題を自らに課しましたが、ともすれば異質なこの二つのJをどのよう

に「二つのJ」を愛する。即ちJesúsとJapanを」という言葉があります。確かに私たちの国籍は天にあるとしても、この二つは共に天から贈り与えられている賜物。遠藤周作は「洋服のキリスト教を「和服」にする」という課題を自らに課しましたが、ともすれば異質なこの二つのJをどのよう

人形浄瑠璃文楽で、日本の重要無形文化財、ユネスコの無形文化遺産。人形と太夫と三味線が三位一体のような役割を果たしますが、氏はお客さんを含めてそれを「四位一体」と言われます。お客さんは、喜怒哀楽を巧みに演じる

「朝日新聞社言論サイト『論座』2022年1月3日掲載記事より」。

氏は2000年に豊竹英太夫という名で自らの信仰告白として新作『Gospel in 文楽』イエスの生誕と十字架を創作。これまで人形入で17回公演されてきました。DVDもあって部分的にはYouTubeで鑑賞も可能です(英語字幕付)。「もろ人の罪を贖わんと十字架にかかりたもう、人となりたる生ける神なり、生ける神なり」という語りは観る者の心にダイレクトに響きます。2017年10月29日には大阪教会でも宗教改革500年を記念した楽劇「ルターと文楽とルネサンス」



豊竹呂太夫 五感のかたへ

### 「教会讃美歌 増補」解説



#### ②創作賛美歌解説1

※公募に寄せられた創作賛美歌の作者による解説を紹介いたします。

石原祐子  
(賀茂川教会)

#### 増補24「救いの主イエスよ」

\*待降節に

「わたしの魂は主を待ち

望みます  
見張りが朝を待つにもまして。『詩編130:6』

「然り、わたしはすぐに来る。『アーメン、主イエスよ、来てください。』」

(黙示録22:20)

主の「降誕をともし待ち望む恵みを感じたいし

聞しかみえない日。絶望

のなかに落ち込んで抜け出せないとき。眠ることができない長い夜。

「神さま、来てください」

とひたすら呼び求めます。わたしたちはあてもなく願うのではない。ひとりです。待つのではない。今このときも、同じ地上のどこかで主を求めて祈っている多くの友と共に、すでにみわざを始めてくださっている主の確かさに信頼して、待ち望みます。

心合わせて信じ、歌い、祈り合いながら、歩ませて

いたいただきたいと願います。

増補34番「いかに幸いな」とか

\*主にある友のために

友の病気を知らされ、

そのつらさを思い、なんと声をかけたらよいのかわからず祈っていた日に、このみことが与えられました。悲しんでいるわたし

「エシユルンの神のような方はほかにない。あなたを助けるために天を駆け

力に満ちて雲に乗られる。イスラエルよ、あなたはいかに幸いなことか。あなたのように主に救われた民があるうか。」

(申命記33:26,29)

自分の中に人を励ます力はないけれど、この主の祝福を、心をこめて伝え合う者にならせていただきたいと願います。主がみことばによって力強く約束してくださったように、

今、盾となつて大切な人々たちを守り、永遠のみうでによって支えていてくださいますように。

「エシユルンの神のような方はほかにない。あなたを助けるために天を駆け

力に満ちて雲に乗られる。イスラエルよ、あなたはいかに幸いなことか。あなたのように主に救われた民があるうか。」

### 世界の教会の声

浅野直樹 Sr.  
(世界宣教主事)

#### 変化の時代における洗礼

ルーテル世界連盟LWF北欧地区の5教会がプロジェクト「変化の時代の洗礼」を企画、1月末にオンライン協議を行いました。異なる状況や年代層に合った洗礼の実践と典礼をどうするかなどについて話しあわれました。

このプロジェクトは2020年から2022年にかけて行われ、北欧5カ国のルーテル教会(デンマーク、フィンランド、アイスランド、ノルウェー、スウェーデン)が進める総合計画「変化の時代における教会」の第1弾にあたります。

プロジェクトの責任者ハラルド・ヘグスタット教授によると、「北欧の状況は類似しているとはいえず、異なる点もあり、たとえば洗礼式は主日礼拝に教会でするだけでなく、自宅やそれ以外の場所だったりします。」

「COVID19はこうした洗礼のやり方に確かに影響を与えています。パンデミックが始まって小児洗礼者数は減少しました。今後「ノーマル」に戻るかどうかは今の時点ではなんとも言えません。」

「洗礼式を礼拝という公共の場ではなく、個別に行うケースが増えてきました。この傾向はパンデミックが今後どうなっていくかに関わらず、北欧の教会では続く可能性がありまよう。」

プロジェクトはその成果として18の検討課題を提示しました。これは各教会から出されたテーマを手がかりとして、洗礼式の具体例を紹介しつつ課題や問題点を検討した結果、整理されたものです。これが各教会での洗礼の実践を規制するといわうわけではなく、どう活用するかは各教会の判断に委ねられます。

プロジェクトを実施したことで思わぬ効果もありました。教会指導者や牧会者レベルでのつながりが強くなりました。これまでも北欧の各教会では様々な共同作業がありまようが、お互いから学ぶという姿勢が今回は特に顕著でした。共通言語として英語を用いたのもよかったです。(ヘグスタット教授)

きたことで、今後もっと幅広い神学的な議論と意見交換が可能になるでしょう。他の地域でもこのプロジェクトを参考にしたいです。」

プロジェクトを締めくくるとオンライン協議会では、洗礼に関して次の4点から全部で18の検討課題が提示されました。(1)社会変化と統計、(2)洗礼の神学、(3)洗礼のコミュニケーション、(4)洗礼の実践。

※18の検討課題は下記サイトで紹介されています。  
[https://churchesintimesofchange.org/recommendations](https://churchesintim.esofchange.org/recommendations)



2022年度教会手帳住所録訂正のお願い

2022年度教会手帳住所録59頁、社会福祉法人ベタニヤホームの「母子生活支援施設ベタニヤホーム」の電話番号が古い情報のままとなっております。お詫び申し上げますと共に、謹んで訂正させていただきます。現在の情報は以下の通りです。

母子生活支援施設  
ベタニヤホーム  
電話 (03) 6240  
12785  
FAX (03) 6240  
12795



# オンラインによる全国青年の集い Pray!Play!Friday!!! 報告

高濱遼太 (健軍教会)

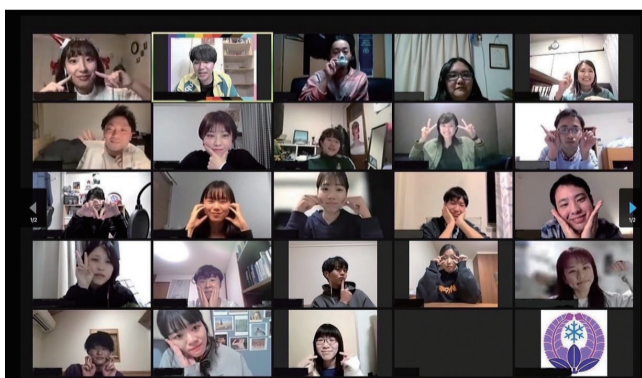
全国のルーテル教会につながる35歳以下の青年を対象としたオンラインでの青年の集い「Pray!Play!Friday!!!」略称【ぷれぷれ】が昨年7月から12月にかけて月に1度、6回開催され全国から各回30〜40名ほどの参加者が集いました。

昨今激減した青年同士の交わりや分かち合いの時を定期的に持ち、新たな同世代の信仰の友との出会いの場を持つてたらと願った。さらに様々なレクリエーションやトークセッションを企画し、コロナ禍によって失われていた青年同士の交流の時を持つことができた。また【ぷれぷれ】では全国のルーテル教会の青年だけでなく、7月16日は竹田大地先生、8月27日は角本浩先生、9月3日は和田憲明先生、10月

1日は永吉穂高先生、11月26日は河田優先生、12月17日は関野和寛先生をお招きし、青年に向けた聖書のお話をしていたいただきました。さらに様々なレクリエーションやトークセッションを企画し、コロナ禍によって失われていた青年同士の交流の時を持つことができた。また【ぷれぷれ】では全国のルーテル教会の青年だけでなく、7月16日は竹田大地先生、8月27日は角本浩先生、9月3日は和田憲明先生、10月

コロナ禍によって青年活動のあり方も大きく変化しましたが、対面では簡単には会うことができない全国の仲間とオンラインでつながることができ、このような状況にあっても神様を通して私たちがつながっているということを、参加者一人一人が実感できたのではないかと思います。【ぷれぷれ】は12月をもって終了とさせて頂きましたが、今回の企画が青年にとって神様や教会とのつながりについて考えるきっかけとなればと願っております。

最後になりましたが、ゲストとして参加していただいた先生方、【ぷれぷれ】のために案内告知をくださった方々、スタッフとして尽力してくださった方々、何より【ぷれぷれ】を最後まで守り導いてくださった神様に感謝しこの報告を終えたいと思います。



## ルター研究所

### 「マグニフィカト」クリスマス講演会 報告

江口再起 (ルター研究所所長)

1521年、ルターは珠玉の名品「マグニフィカト」講義を出版しましたが、その500年を記念して、ルター研究所では「マグニフィカト」講演会をオンラインで開催しました(2021年12月12日)。全国100カ所で視聴され盛会でした。

マグニフィカトとは、受胎告知を受けた

マリアの、神への賛美の歌です(「マリアの賛美」ルカによる福音書1章46節以下)。ヴァルトブルク城に保護幽閉されていた時、ルターはその解説書を著わしました。

講演会は3部構成で行われました。第1部は江口再起(ルター研究所所長)の講演「待つということ〜マリアと現代」でした。ここで「待つ」とは、神の顧みに信頼して謙虚に生きるということ

です。このテーマを現代ドイツの哲学者ハイデガーの「ゲラッセンハイト(放下)」という言葉

を参考に考えました。第2部は、バッハ作曲「マグニフィカト」の見事な演奏(聖トマス教会でのT・コープマン指揮)。加藤拓未(バッハ研究者)が解説を担当しました。

統治者若きヨハン候との関係の中で、この名著が執筆された経緯について、自らのこの本との出会いを交えて話があり、次に多田哲(日吉教会牧師)が当時のカトリックとルターの

マリア像のちがいを祈願から賛美へ、崇敬から記念へ、代弁者から共に祈る者へ等について語りました。そして最後に安田真由子(ルーテル学院大学講師)が、専門の新約学として女性の立場から論じました。マリアは一人の素朴な少女であった事、同じ恐れと喜びを共有していたエリザ

ベトとの出会いの重要性、また賛歌の底流に権力への批判がある事などが語られました。三者三様、内容豊かな

シンポジウムとなりました(敬称略)。\*なお、第1部と第3部の録画は、日本ルーテル神学校のホーム

ページの「ルター研究所」のサイトから見ることが出来ます。

## 公告

この度左記の行為を致しますので、宗教学法第23条の規定に基づき公告致します。2022年3月15日 宗教学人日本福音ルーテル教会 代表役員 大柴讓治 信徒利害関係人 各位 甲佐教会牧師館 解体 所在地 熊本県上益城郡甲佐町岩下西園 所有者 日本福音ルーテル教会 家屋番号 207番地 種類 教会 牧師館 面積 69.22㎡ 老朽化のため





# 定年教師挨拶

太田彦



私は昨年7月心臓病のため退職させていただくことになりました。年度途中の退職は、遣わされてい

「支えを感謝して」  
杉本洋



今、主のご用のために用いていただけたことを感謝しています。これまでかわりを持っていただいた多くの方々、とりわけ、遣わされた教会の信者・関係者地域の方々、そしてお付き合いくださった教職者に対し

わたしは1980年3月に神学校を卒業し、東海教区の名古屋教会で、按手を受けました。最初の任地は東海教区の岡崎教会で、5年間働きました。次に任



40年前、ルーテル神学大



中村朝美

た彼の顔は忘れられませ

会に転任し、16年間働いて

「新たな旅立ち」  
徳野昌博

40年前、ルーテル神学大

「防止を目指す」

ハラスメントの解決に取

「ハラスメント」

「ハラスメント」

「ハラスメント」

「ハラスメント」

「ハラスメント」

「ハラスメント」

「ハラスメント」

「ハラスメント」

「ハラスメント」

「教員財務」

教会の財務については1

「ハラスメント」

「ハラスメント」

「ハラスメント」

「ハラスメント」

「ハラスメント」

「ハラスメント」

「ハラスメント」

「ハラスメント」

「ハラスメント」

「ハラスメント」

「ハラスメント」

「ハラスメント」

「ハラスメント」

「ハラスメント」

「ハラスメント」

「ハラスメント」

「ハラスメント」

「ハラスメント」

「ハラスメント」

「ハラスメント」

「ハラスメント」

「ハラスメント」

「ハラスメント」

「ハラスメント」

「ハラスメント」

「ハラスメント」

「ハラスメント」

「ハラスメント」

「ハラスメント」

「ハラスメント」

「ハラスメント」